千葉市在宅医療推進連絡協議会 研修会

超高齢社会における入退院支援

～ 病院地域連携室の役割と介護連携の重要性 ～

2040年、高齢者人口はピークを迎え、医療・介護の需要が最大となります。急性期から在宅への移行を加速し、地域包括ケアを完結させるためには、医療と介護のさらなる連携強化が求められています。本研修会では、改めて病院地域連携室の役割を確認するとともに、病院と介護の連携が成功した事例を共有し、今後の連携強化の一助とすることを目的として企画しました。

内 容

1 病院地域連携室の役割と現状 ― 連携室連絡会の取り組み（20分）

千葉大学医学部附属病院 患者支援部 副部長 市原 章子 氏

2 事例紹介（各10～15分程度）

急性期・回復期リハビリテーション・地域包括ケア・ケアミックスの各施設から、連携の重要性を学んだ事例、連携がうまくいった事例をご発表いただきます。

① 千葉県総合救急災害医療センター	医療連携支援室 MSW 赤石 靖子 氏
② 千葉医療センター	地域連携係長・退院調整師長 小林 和子 氏
③ 最成病院	地域連携室 室長 奥村 恵美子 氏
④ 千葉みなとリハビリテーション病院	医療連携室 主任 中野 まや 氏
⑤ 総泉病院	地域連携室 係長 中村 燿子 氏

3 質疑応答

日程 令和8年10月28日（水）
午後7時～9時

開催方法 ZOOMによるオンライン開催

●対象者 医療・介護関係者のみなさま

●申し込み方法

申込みは下記URLまたは二次元コードから
【締め切り】10/27（火）
【参加費】無料

申込URL：https://apply.e-tumo.jp/city-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=65833

問合先：千葉市在宅医療・介護連携支援センター 電話：043-305-5026